


ピーナッツチームの紹介

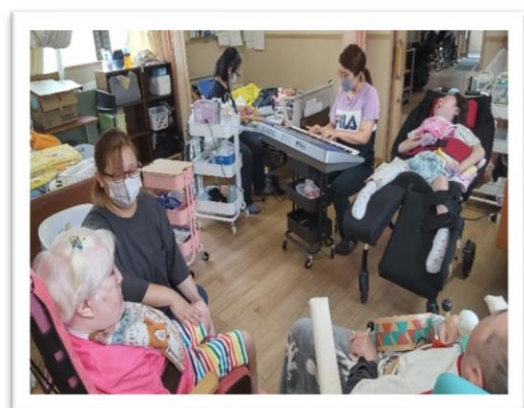
ピーナッツチームでは医療的ケア(喀痰吸引や胃ろう)の必要なメンバー6人が活動をしています。今回はチームの1日の流れや、そこで働く看護師のインタビューをお届けします。




～1日のタイムスケジュール～


● ● ● ● ● ● 9:30 通所 ● ● ● ● ● ●

 10:00 あさの会
みんななかまのうたを歌い
それぞれの様子を紹介します



 10:30 午前の活動
散歩
ストレッチ
調理活動etc...

● ● ● ● ● ● 12:00 昼食 ● ● ● ● ● ●

 13:15 午後の活動
仕事
それぞれ専用の
自助具を使って
雑巾に刺繍しています。
スヌーズレン
創作活動
音楽セラピーetc...



● ● ● ● ● ● 15:30 終了 ● ● ● ● ● ●

ストレッチ☆



歩行練習♪



おしごと(♪)



看護師へのインタビュー



🍓 みんななかまで働くきっかけについて

知り合いがみんななかまで働いていた関係で紹介していただきました。それまでは、精神科の病院や、イベントの救護室で働いていました。

はじめは不安があり、また作業所と聞くと私自身の勝手なイメージで、黙々と作業をしているのかと思っていましたが、皆でコミュニケーションをとることが多い職場でした。



🍌 仕事をしていて楽しいと思うところや、大変なところはどんなところですか？

特に印象に残ったエピソードはありますか？



楽しいところは、利用者の方と関わっている中で、意志の疎通が取れたと感じるときです。調理活動の時、利用者の方と一緒にチョコレートの味見をしたときに、ニコッとイタズラっぽく笑ってくれたのが、思い出に残っています。

逆に大変なところは、今やっていることが、本人の将来に関わってくる、そう考えるととても責任が重いと思います。

🍎 看護師としての仕事について

医療的ケアを行うことに対して、特に気を付けていることはありますか？

利用者の方本人、家族の方とのコミュニケーションを大切にしています。健康状態についても自宅送迎時に言葉を交わすことを心がけています。

医療機関勤務とのちがいはありますか？

医療機関とのちがいは、施設は地域生活を支える場であるということです。福祉施設で、なおかつ利用者の方が仕事をする場であることから、自助具等で取り組みやすい方法を考えたりしています。

🍌 医療的ケアが必要な人にとっての「労働」について

働くということは、社会参加をするということ。利用者の方は、作業や通所する事を通して地域とのつながりを持っています。作業の内容についても、もっと工夫をすれば広がっていくと思うので一緒に探していきたいと思います。

